



上箕田町の麦畑から鈴鹿山脈を望む

寒い冬をすごして実った麦と新緑に染まる山。農家の人たちが苦勞して育てた麦の成長と、これからの季節に向かう若々しい力を感じさせる山の姿。日本の低い食料自給率に思いをはせらせられると同時に、自然の見事な配色と大きさを感じます。この風景は、またウクライナをも思いおこします。

住吉 菅谷芳則

巻頭言

市民に役立つ公共交通実現めざし、6月議会がんばります！

鈴鹿市議会議員 高橋さつき



ニワトリのピーコちゃん

最近、私は畑にハマっています。選挙が終わるまで気忙しくバタバタしていたからか、畑でぼ～っとすることが気分転換になります。春野菜の収穫のお手伝いをしながらおしゃべりしたり、サツマイモの苗植えをしたり、ニワトリを追っかけたり、草抜きをしながらおしゃべり…と、手伝いどころか8割方口の方

が動いて、ほぼ遊んでますが、ほっこり癒されます。

春菊の花が黄色の単色やツートンカラーなどいろいろあってとても可愛い事、キャベツが実は緑のバラミたいな事を新発見し、楽しんでました。時間の使い方が下手なので2期目はもう少し切り替えて趣味を楽しむ余裕を持ちたいと思います。

ところが今年度から、議会もペーパーレス！ほとんどの議案がタブレットにデータ送られてくるだけ。紙ではもらえません。議案を読むだけでも大変なのにアナログな私はタブレットを使いこなすにも苦戦してまた余裕がなくなっています(笑)

それでも6月議会は始まります！頑張らねばっ！今回、議案の中にも市長の話にも『デマンド交通』の言葉が出てきました。でも『公共交通空白地域』『地域主体』の言葉も出てきます。う～む、困っているのは鈴鹿市全地域の方々です。地域任せでは『公共交通』とは言えません。市民の皆さんが求める、生活の足となるバスとは差があるような…。お買い物、病院などのお出掛けに困らないバス、いつでも誰でも、電話一本の予約で近くまで迎えに来てくれるオンデマンドバスが必要なんだと訴えて頑張っていきます。引き続きの応援、よろしく願います！





桑名市「のりーと」

公約実現に向けて 私たちが望む移動手段



明和町「チョイソコ」

4月に行われた市議員選挙で共産党の候補はそろってデマンドバス(地域公共交通)の実現を公約に掲げました。選挙後の記者会見で末松市長が「小型の乗り合いタクシーのようなデマンド型システム」を整備すると発言したこともあり、市民の中に実現への期待が高まっています。

ところでデマンド型の地域公共交通とはどういうものでしょうか？鈴鹿市では「鈴鹿市のコミバスをよくする会」が早くから提案しており、何となく理解はしているものの、具体的なイメージが描けないという人も多いようです。デマンドとは英語で「要求」という意味ですから、オンデマンド(On-Demand)とは、「要求(Demand)に応じて」という意味になります。すでに三重県内では桑名市の「のりーと桑名」や明和町の「チョイソコめいひめ」や玉城町の「元気バス」などが走っています。従来のバスのように時刻表や決まった運行ルートがなく、AI(人工知能)が予約状況に応じて運行ルートを考えながら走り行きます。予約は電話かスマホで30分前までに行います。



玉城町「元気バス」

さて鈴鹿市でこれが実現したらどうなるか、80歳になるサブローさんの架空日記でイメージを描いてみましょう。

♡♡♡♡ 一人暮らしのサブローさん、2年前に免許を返納して以来、ほとんど家から出ない生活でした。しかしデマンドバス「チョイソコすずか」ができてからは生活が一変しました。



○月○日 いい天気だ。「チョイソコ」で出かけよう。朝8:00に予約の電話をし、歩いて200メートルほどのごみ置き場でバスを待つ。8:30ぴったりにバスが来た。バスと言っても12人乗りのワゴン車だ。すでに5人ほど先客が乗って

いる。私の行き先は家から2キロメートルほど離れた公民館。久しぶりに「男の料理教室」に参加する。他の客はそれぞれショッピングセンターや整形外科医院、歯科医院へ行くようだ。料理教室の終了が12:00なので、それに合わせて帰りのバスを予約した。今度の連休には孫たちに習ったばかりの「ほうれん草と鶏肉のクリームパスタ」を作ってみよう。

○月○日 雨 「チョイソコすずか」のおかげで、雨の日でも外出がおっくうでなくなった。今日は前から予定していた○○内科クリニックに行く日だ。前日に電話で予約した通り、9:00にバスが来た。検査やら診察やらでけっこう時間がかかった。クリニックで薬を待つ間に帰りのバスの予約を入れた。30分後にはバスが来た。何ともありがたいことだ。これまでは近くに住む息子が嫁に連れて行ってもらうことが多かった。やさしい息子と嫁だが、やはり自分でバスに乗れるのは気分がいい。



まあこんなイメージでしょうか。運賃は1回300円程度(「のりーと桑名」や「チョイソコめいひめ」)で、そのつど払いますが、全国的にはあらかじめ年会費3000円ぐらいを払えば何回乗っても無料としているところもあります。玉城町は年会費も運賃も無料だそうです。鈴鹿市では具体的にどんな方法にするか、先進地の知恵も取り入れながら、鈴鹿市らしい地域公共交通を実現しましょう。

(吉田一男)



私たちが政治に望むこと 30代、40代の女性4人に聞きました

子どもの医療費

子ども医療費の窓口負担がなくなったのはとてもうれしい。引き続き高校生まで医療費無料にしてほしい。部活をしていたからか、高校に入ってからもよく病院へ行った。中学校給食は親も助かるし、子どもにもいいことだと思う。安全な食材を使ってほしい。

(40代女性)



大学授業料

大学の授業料が高すぎる！！貸与型の奨学金もあるけれど、所得制限があり、ふつうの家庭ではもらえない！！多子世帯では、かかる教育費が全然違う、とにかく大変！！

(40代女性)



選挙体験記

田舎の選挙とはずいぶん違うね

初めて高橋さんの選挙カーに乗りました。運転手さんが凄く狭い道まで入り込む見事な運転とか、道沿いの窓から応援してくれる人がいたりとか、普段ではない光景が楽しかったです。

田舎で友だちのお父さんの選挙を手伝ったことがありますが全然違いますね。田舎では近所のおばちゃんたちが来て手づくりの料理が並びます。ビールや酒めあてのおっちゃんもいたりしてきながら「ビール祭り」。いっぼうさつき事務所の雰囲気は男の人が多く皆さん真面目。さつきさんの応援にみんなが力を合わせてるのが分かりました。

結果がいつ発表されるかとさつきサポーターラインを何度となく確認してドキドキ。当選を聞いた時はホッとしました。と同時に「ま～当然だろう」と思いました。なぜって、30数人のポスターが貼り出されている中でさつきさんが一番と私は直感していましたから。

私に「生活と政治はつながっている」ことを教えてくれたさつきさん。日本を良くしたいと、本気で頑張ってくれているさつきさんを、これからもずっと応援して行こうと思いました。(東磯山 H)



選挙カーに乗って

4月の半ば、市議選が始まり、人生二度目の選挙カー乗車、そして、アナウンス。石田さんの選挙カーには体調を崩してしまい乗ることが出来ず、本当に悔やまれました。そしてようやく乗れた高橋さつきさんの選挙カー。時間にすればほんの数時間。でも、めちゃめちゃ楽しかったです。



予め、ある程度は用意されている原稿。それを読みつつ、あとは、すれ違う市民の皆さまに訴えるライブ感。すれ違った他の候補者とのやり取り。ワクワクが止まらない(笑)アナウンスしながら、初めての選挙カーで喋った20歳の頃を思い出していました。あんな小娘が町内を回る時、偉そうにああしようこうしようと結構な独断で自分のおじいちゃんの年齢の方達にめちゃ指示していたこと、あんな凄く失礼な事はなかったんじゃないかと反省しつつ、さつきさんのお手伝いはそんなことがないようにと肝に銘じ、アナウンスしました。あの時やった手法は封印して。仕事の都合がつく時期であれば、1週間手伝いたかったな…と本気で思ったお手伝いでした。そして石田さん、高橋さんお二人が無事当選されて、これからも「これ、どうなってんの?」って事をどんどんお二人に託せたらと思います! 石田さん、高橋さん、頑張ってください!!

(田中美香)

石田さんと共に

選挙戦の中、石田さんの一生懸命さに背を押されて知り合いのお家を何軒かお訪ねしました。石田夫妻の長いがんばりに寄せてくださる信頼はありがたいものでした。

そんな中「子ども会以来40年近いお付き合いだねえ」「自治会の役員をしてもらった時は本当にお世話になりました」と言われる方々から「あなたが社会活動頑張っているのはよう見てきたよ。えらいなあと思ってるよ」とか「オレ、東京にいる時は紙屋さんしてて、赤旗さんには世話になってのお」とか「私、嫁に来るまでは東京の中野区に住んでて赤旗よく見ていましたよ」とか「組合の役員してる時も会

社の言う候補でなく何度も共産党に入れてきたよ」という方々にあちこちで何人も、初めてお会いしました。

共産党の顔は志位さんかも知れませんが、共産党を感じ、共産党を応援してもらえるのは、身近で活動する党员・後援会員や支持者を通してなんだなあとしみじみ思ったものでした。

(石薬師 萩森繁樹)



私たちが政治に望むこと 30代、40代の女性4人に聞きました

教育

子どもの教育にお金がかかる! 塾に行けない子たちがいる。高校の授業料無償も所得制限がある。

(30代女性)



国保・年金・住民税

農村環境改善センター(岸田町)がとにかく古くて、図書室はエアコンをかけていても寒くて、トイレは今だに和式しかない! 何とかしてほしい! 国民健康保険・年金・住民税など、引き落としの時はさほど感じなかったが、自分で払いに行くようになったら、高い!! と悲鳴を上げている。

(40代女性)





IT化が進む議会、でも大事なものは「議論」

鈴鹿市議会議員 石田秀三

市民の皆さんのご支持を得て、定数4減のきびしい選挙で前回なみの得票を維持し、引き続き共産党市議団2議席を確保できました。私は通算10期目、議員歴では鈴鹿市政史上最長、年齢では上から5番目ですが、私が議会に出た時にはまだ生まれていなかったという若い議員も2人いて、隔世の感がします。

初当選の頃はまだ携帯電話などなく、ワープロやファクスがやっと普及してきた時期で、その後パソコン、インターネット、テレビ中継は新庁舎になってから。そしてこの6月議会からは議案も予算書も、紙からタブレット端末で見る方式(ペーパーレス)に変わるので、これに慣

れるのに苦労しています。

このように議会のシステムは大きく変わってきましたが、変わらないのは本会議や委員会での質疑応答・論戦です。議会独特のルールと限られた時間の中で、いかに市民の声を取り上げ、実現させていくか、知恵をしばって頑張らねばなりません。どうぞ皆さんの市議団へのご支援と、ご意見やご要望など、どんなことでもお気軽にお寄せ下さい。



夏だ!バーベキューだ!若者あつまれ~

鈴鹿市後援会
特別企画

7月16日(日)16:00~18:00

田中清重宅

鈴鹿市道伯町2407 たんぼぽのすぐ南隣(地図参照)

参加費

大人 1000円

子ども 500円



←田中宅 ここです
駐車場あります



手ぶらでOK

食料・器材そろっています